

# 第18回 関西町人会

「第18回関西町人会」が、11月24日(日)にメルパルクOSAKAで開催されました。

当日は日南町の出身者が約40名参加し、来賓や町からの出席者を合わせると約70名の参加となりました。

会では、三上紀忠町人会会長（阿毘縁）があ



いさつされ、来賓の内田博長鳥取県議会議員、岸田孝之鳥取県関西本部副本部長にごあいさついただきました。その後は、各地域に別れ懇親会を行い、旧交を温めました。

町人会は関東と関西で隔年ごとに開催されており、来年は関東での開催となります。ふるさと日南町を語りあうまたとない機会ですので、多くの方のご出席をお待ちしております。



今回は、この写真です。道路際の農地で三方をワイヤーメッシュ柵で囲い、道路側を電気柵で防護されています。一見するとしっかりとした対策のようですが、これは「残念な」対策です。なぜか分かりますか？

答えは、電気柵を張っている位置が道路に近すぎることです。イノシシが舗装面に足をついた状態で電気柵に触れても、ほとんど電気が流れず、



## 獣害対策 最前線

### 残念な対策①

日野郡鳥獣被害対策協議会  
実施隊チーフ 木下卓也  
【問い合わせ】72-1399

電気柵の効果が発揮されません。電気柵と舗装面の間に50cmくらい離して設置してください。この設置ミスは、意外と多くの方がしています。農地を有効に使うのは重要ですが、イノシシに食べられては元も子もありません。少し作付けを減らしても、道路から離して電気柵を設置するようにしてください。

